I·O DATA

RHD-UX シリーズ

❶ はじめに お読みください

M-MANU200452-01

お買い上げいただきありがとうございます。
この説明書は事故を防ぐための重要な注意事項と本製品を使う前の準備について説明しています。この説明書および他のマニュアルをよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

マニュアル一覧

①はじめにお読みください(本書)
最初にお読みください。

②Windows版セットアップガイド (Windowsをお使いの場合)
本製品をパソコンに接続して使えるようにします。

③Mac OS版セットアップガイド (Mac OSをお使いの場合)
本製品をパソコンに接続して使えるようにします。

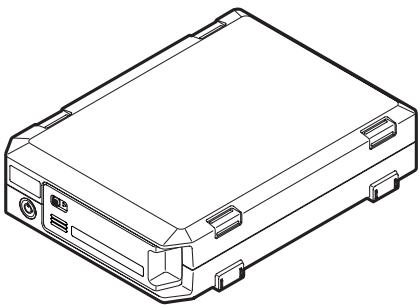
画面で見るマニュアル
本製品のより詳しい説明が記載されています。参照方法は、セットアップガイドの【画面で見るマニュアルについて】をご覧ください。

ハードウェア仕様

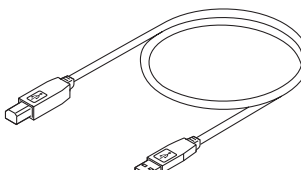
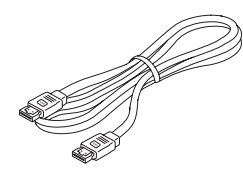
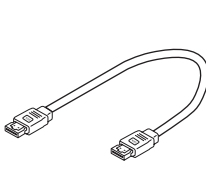
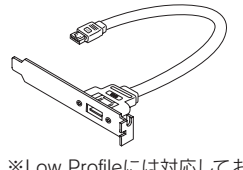
インターフェイス仕様	USB 2.0、USB 1.1、eSATA
電源仕様	AC100V±10% 50/60Hz
使用 温度・湿度範囲	温度5～35℃ (パソコンの動作する範囲であること) 湿度20～80% (結露なきこと、PC動作範囲であること)
本体質量	約2kg (本体のみ、カートリッジディスク含む)
外形寸法	170(W)×230(D)×50(H)mm (本体のみ、ラバーフット含まず)

箱の中には

※図は実際のものと異なる場合があります。

☐ 本体(1台)

■ユーザー登録とサポートソフトのダウンロードについて
▼ ここにシリアル番号(S/N)をメモしてください。

シリアル番号(S/N)は本体背面に貼られているシールに「ABC0987654ZX」のように印字してあります。
●シリアル番号(S/N)は、ユーザー登録の際に必要です。
http://www.iodata.jp/regist/
弊社ホームページよりサポートソフトをダウンロードする際にも必要です。
http://www.iodata.jp/lib/

☐ USBケーブル(1本)[約1m]

☐ eSATAケーブル(約1m)　☐ eSATAケーブル(約30cm)

☐ eSATAブラケット(1個)　☐ ラバーフット(4個)

※Low Profileには対応しておりません。

☐ ロックキー(2個)

☐ サポートソフトCD-ROM(1枚)

☑ ①はじめにお読みください(1枚)[本紙]

☐ ②Windows版セットアップガイド(1枚)

☐ ③Mac OS版セットアップガイド(1枚)

☐ インデックスシール(1枚)

動作環境

本製品を使うことができるパソコン環境を説明します。

対応機種および対応OS

次の条件を満たすこと
●本製品を接続できるUSBポートまたはeSATAポートまたはシリアルATAコネクタの空きがあること。
※USB 2.0でご使用いただくには、USBポートおよびOSがUSB 2.0に対応している必要があります。対応していない場合は、USB 1.1として動作します。
※対応eSATAインターフェイス(弊社製)
ESA-PEX,ESA-PCI,CBESA,ESA-EXC
●サポートソフトインストール用のCD-ROMドライブがあること。

eSATAケーブル使用時

対応機種※1	対応OS(日本語版のみ)
DOS/Vマシン※2	●Windows Vista※3 ●Windows Server 2003※4 ●Windows XP※5 ●Windows 2000※6
Apple PowerMac G5	●Mac OS X 10.2～10.4

パソコン起動中に取り外しを行う場合は、取り外しツール「SATAUnplug」をインストールしてください。インストール方法は、「②Windows版セットアップガイド」の「インストールする」を参照してください。

USBケーブル使用時

対応機種※1	対応OS(日本語版のみ)
DOS/Vマシン※2	●Windows Vista※3 ●Windows Server 2003※4 ●Windows XP ●Windows 2000 ●Windows Me ●Windows 98(SEを含む)
Apple Mac mini、Mac Pro、 MacBook、MacBook Pro iMac(iMac DVを含む)、 iBook、 PowerMac G5、G4、 PowerMac G4 Cube、 PowerMacintosh G3 (Blue & White)、 PowerBook G4/G3 (Bronze keyboard)	●Mac OS 9.1～9.2.2 ●Mac OS X 10.1～10.4

※1 より詳しい対応機種情報を対応検索エンジン「PIO」にてご案内しております。
http:/www.iodata.jp/pio/
※2 弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしています。
※3 添付ソフトの、Windows Vista対応状況については、セットアップガイド(Windows版)または弊社ホームページをご覧ください。
※4 添付ソフトは、Windows Server 2003には「SATAUnplug」を除いて対応しておりません。(2007年6月現在)
※5 SP1以降対応
※6 SP4以降対応

注意
●USB接続時およびMac環境では起動用ドライブとしてはご使用いただけません。
●ご利用の本体との組み合わせにより、スタンバイ、休止、スリープ、サスペンド、レジュームなどの省電力機能はご利用いただけない場合があります。
●長期間使用しない場合は、電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。
●eSATAブラケットを使用して接続する場合は、パソコン本体BIOSが本製品の容量に対応している必要があります。
本製品の容量をサポートしているかどうかにつきましては、お使いのパソコンおよびインターフェイスのメーカーにお問い合わせください。
●eSATAブラケットを使用している環境で、添付のSATAUnplugを利用してホットプラグを行う場合は、Intel 910、915、925、945、955、965、975チップセットのAHCIモードでご利用ください。

本製品接続前に必要な作業

Windows 2000 Service Pack 4以降をお使いで、Serial ATAインターフェイスがOS標準ドライバ(ATAPI.SYS)で動作している場合、以下の設定変更が必要です。
Serial ATAインターフェイスのメーカーが提供のドライバで動作している場合は、以下の設定変更は必要ありません。
OS標準ドライバが使用されているか不明な場合には、以下の設定変更を行ってください。

ユーティリティの動作環境

●環境がハードディスクの容量に対応していないと…
ユーティリティで設定変更を行っても、お使いの環境がハードディスクの容量に対応していないと、お使いになるうちにデータが破損・消滅してしまうおそれがあります。
必ずハードディスクの容量に対応した環境でお使いください。

対応機種	対応OS(日本語版のみ)
DOS/Vマシン※1	●Windows 2000※2

※1 マザーボードのBIOSが、ハードディスクの容量に対応していること。
※2 Service Pack 4以降をインストールしていること。

ユーティリティの使用方法

まだ本製品を取り付けないでください。
ユーティリティによる設定終了後に、本製品を取り付けてください。

❶ Windowsを起動します。

●ログオン時のユーザー
コンピュータの管理者(Administrators)グループに属するユーザーでログオンしてください。

❷ サポートソフトCD-ROMを挿入します。
⇒サポートソフトメニューが表示されます。

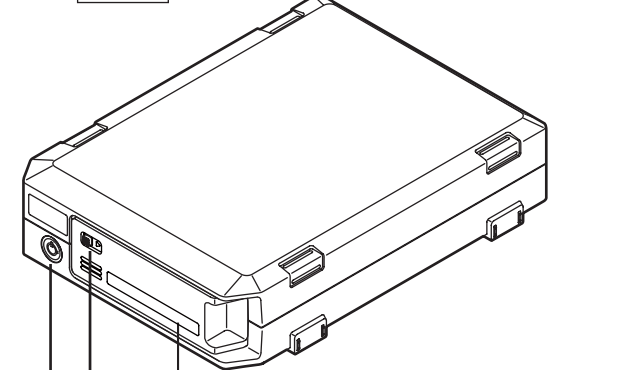
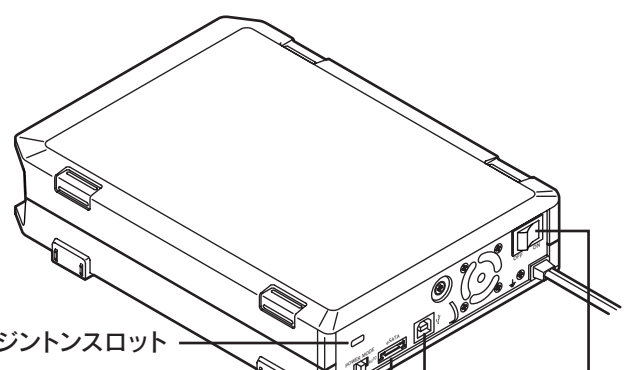
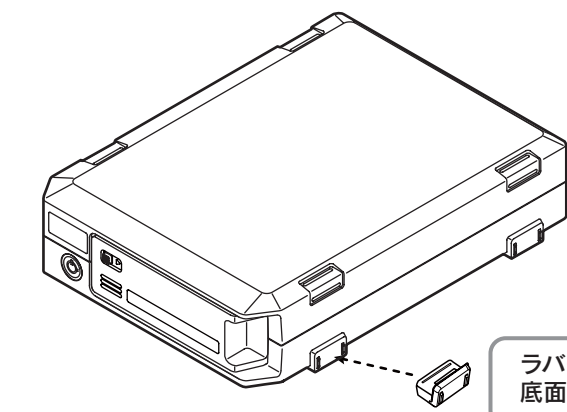
●サポートソフトメニューが表示されない
「マイコンピュータ」を開き、サポートソフトCD-ROMアイコンを右クリックし、[「RHD-EX/UXサポートソフト」の実行]をクリックしてください。

❸ 設定を変更します。
①メニュー内の[お使いになるには]ボタンをクリックします。
②右側に表示される[Windows設定変更ユーティリティ]ボタンをクリックします。
③[設定変更確認]画面が表示されますので、設定内容を確認後、[設定変更]ボタンまたは[OK]ボタンをクリックします。

❹ 結果を確認し、Windowsを終了します。
設定結果を確認し、[今すぐ終了]ボタンをクリックします。
⇒Windowsが終了します。

Windowsの設定が変更されました。

各部の名称・機能

ランプなどの名前と機能を説明します。

ラバーフットの取り付け方

電源連動機能について

本製品は、接続したパソコンに連動して電源をON/OFFにできる電源連動機能を搭載しています。
パソコンに接続した状態で、パソコンの電源を入れれば本製品の電源がONになり、パソコンの電源を切れば本製品の電源が切れる機能です。
本機能を使用する場合は、背面の電源連動切替スイッチをAUTOに設定します。

❶ 本製品をパソコンから取り外します。
❷ 電源モードスイッチを「AUTO」に設定します。

●お使いの環境によっては、パソコン上で本製品の取り外し手順を行った場合に、電源が切れます。
●お使いの環境によっては、パソコンの起動途中にいったん本製品の電源が切れ、しばらくして再度電源が入る場合がありますが、異常ではありません。

使い方

パソコンに接続するだけでパソコンに連動します。
●パソコンの電源を入れる ➡ 本製品の電源が入ります。
●パソコンの電源を切る ➡ 本製品の電源が切れます。

安全にお使いいただくために

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意事項

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠警告

厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

分解禁止

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。
火災や感電、やけど、故障の原因になります。
修理は弊社修理センターにご依頼ください。
分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。

電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントからプラグを抜いてください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

発火注意

本製品を接続する場合は、必ずセットアップガイドで接続方法をご確認になり、以下のことをご注意ください。
- ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因となることがあります。
- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。

禁止

AC100V(50/60Hz)以外のコンセントに接続しないでください。発熱、火災の恐れがあります。

厳守

電源プラグをコンセントに完全に差し込んでください。
ショート、発熱の原因となり、火災、感電の恐れがあります。

厳守

本製品の接続、取り外しの際は、必ずセットアップガイドで、接続・取り外し方法をご確認ください。
間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。

禁止

本体を濡らしたり、お風呂場では使用しないでください。
火災・感電の原因となります。
お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。

禁止

濡れた手で本製品を扱わないでください。
感電や、本製品の故障の原因となります。

厳守

電源ケーブルについては以下にご注意ください。
- 必ず添付または指定の電源ケーブルを使用してください。
- 電源ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- 電源ケーブルをACコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因となることがあります。
- 電源ケーブルの電源プラグは、濡れた手でACコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因となります。
- 電源ケーブルがACコンセントに接続されているときには濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。
- 本製品を長時間使わない場合は、電源ケーブルを電源から抜いてください。電源ケーブルを長時間接続していると、電力消費・発熱します。

■絵記号の意味

この記号は注意(警告を含む)を促す内容を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例)「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例)「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例)「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠注意

注意

本製品を使用中にデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。
故障や万一に備えて定期的にバックアップをお取りください。

禁止

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かないでください。

禁止

本製品は以下のような場所(環境)で保管・使用しないでください。
故障の原因となることがあります。
- 振動や衝撃の加わる場所
- 湿気やホコリが多い場所
- 温湿度差の激しい場所
- 熱の発生する物の近く(ストーブ、ヒータなど)
- 強い磁力電波の発生する物の近く(磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など)
- 腐食性ガス雰囲気中(Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NOxなど)
- 静電気の影響の強い場所
- 保温性・保湿性の高い(じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど)場所での使用(保管は構いません)
- 直射日光のあたる場所
- 温湿度差の激しい場所
- 傾いた場所
- 水気の多い場所(台所、浴室など)

禁止

アクセスランプ点滅中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。
故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

禁止

本製品は精密機器です。以下のことにご注意ください。
- 落としたり、衝撃を加えない
- 本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- そばで飲食・喫煙などをしない
- 本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

禁止

動作中にケーブルを抜かないでください。
故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。

禁止

本製品内部を結露させたまま使わないでください。
時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、内部が結露する場合があります。
そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。

厳守

本体についた汚れなどを落とす場合、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めて使用してください。
- ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- 市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

禁止

本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

厳守

本製品のコネクタ部分には触れないでください。
コネクタ部分に触れると静電気により、本製品が破壊されるおそれがあります。

厳守

動作中にケーブルを激しく動かさないでください。
接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。

注意

本製品(ソフトウェア含む)は、日本国内仕様です。
本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめ、ご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

ご注意

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

商標について

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- Microsoft、Windowsは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- Apple、Macintosh、PowerBook、iMac、iBook、FireWire、PowerMac、 Mac、Mac OS、Mac OSロゴおよびその標章は、米国Apple Computer,Inc.の登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

本製品での呼び方

本製品では以下の呼び方を使用しています。

呼び方	意　味
Windows Server 2003	Microsoft® Windows Server™ 2003 Standard Edition Operating System 、Microsoft® Windows Server™ 2003 Enterprise Edition Operating System 、Microsoft® Windows Server™ 2003 R2 Standard Edition Operating System 、Microsoft® Windows Server™ 2003 R2 Enterprise Edition Operating System の総称
Windows Vista	Microsoft® Windows Vista™ Business Operating System 、Microsoft® Windows Vista™ Enterprise Operating System 、Microsoft® Windows Vista™ Home Premium Operating system、Microsoft® Windows Vista™ Home Basic Operating System、Microsoft® Windows Vista™ Ultimate Operating System の総称
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating System、Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System の総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating System、Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System の総称
Windows Vista/XP/2000	Windows Vista、Windows XP、Windows 2000の総称
Windows Me/98	Windows Me、Windows 98の総称
Windows	Windows Vista/XP/2000/Me/98の総称

お問い合せ

本製品に関するお問い合わせ

サポートセンターで受け付けています。

① 弊社ホームページをご確認ください。

サポートWebページ内の「製品Q&A、News」などもご覧ください。
過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/

添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/

② それでも解決できない場合は…

住所：　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
　アイ・オー・データ第２ビル
　株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター
電話：　本社…076-260-3688　東京…03-3254-1095
　※受付時間　9:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）
FAX：　本社…076-260-3360　東京…03-3254-9055
インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

お知らせいただく事項について

1. ご使用の弊社製品名
2. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番
3. ご使用のサポートソフトのバージョン
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及び、メーカー名
5. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

※ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。
また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

「HD革命/Partition Lite Ver.1」に関するお問い合わせ

株式会社　アーク情報システム　連絡先

お問い合わせの際には、必ずソフトウェアのオンラインマニュアルを確認し、必要となる資料をご用意の上、ご連絡ください。
また、お問い合わせの際に製品のシリアルを確認させていただく場合があります。

e-Mail　kakumei@ark-info-sys.co.jp
電話　03-3234-9251
　※受付時間　10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 17:00
　月曜日～金曜日（11 月 1 日、祝祭日を除く）
FAX　03-3234-9252
住所　〒102-0076
　東京都千代田区五番町 4-2　東プレビル
　企画販売部　ユーザーサポート係り　宛て

「Hard Disk Manager 8.1 for I-O DATA」に関するお問い合わせ

株式会社ネットジャパン

電話　03-5256-0861
　※受付時間　10:00-12:00、 13:00-17:00
　（土・日、休・祝日を除く）
FAX　03-5256-0862
E-Mail　support@netjapan.co.jp
サポートフォーム　下記ホームページより
　「サポート/サービス」⇒「個人向けサポートフォーム」
　を選んでサポートフォームに記載してください。
　www.netjapan.co.jp
シリアル番号　HDM810-ID07050001
　※サポートフォームにはこのシリアル番号を入力してください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●内部のデータについて

■検査の際には、内部のデータはすべて消去されてしまいます。（厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。）
※データに関しては、弊社はいっさいの責任を負いかねます。バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。

■弊社では、データの修復は行っておりません。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

■保証期間中は、無料にて修理いたします。ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

■お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

製品名、シリアル番号（製品に貼付されたシールに記載されています。）、送付日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

■必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

■下記の内容を書いたもの
返送先[住所/氏名/(あれば)FAX番号]、日中に連絡可能な電話番号、使用環境（機器構成、OSなど）、故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

■上記で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

■輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

■修理は、下記の送付先までお送りください。
※原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

■送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

【送付先】〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
　アイ・オー・データ第2ビル
　株式会社アイ・オー・データ機器　修理センター　宛

修理品の返送

■修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。
※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

本社サポートセンター：〒920-8513　石川県金沢市桜田町２丁目８４番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/　2007.7.30 発行